

令和 2 年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立花の文化園	指定管理者：住友林業緑化・E-DESIGN 共同企業体	指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	所管課：環境農林水産部農政室推進課
----------------	-----------------------------	--------------------------------------	-------------------

評価項目	評価基準 (内容)	実施予定年度	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言	
			評価	評価			
			S~C	S~C			
一 提案の履行状況に関する項目 施設の位置づけや特性、社会的役割等効用を最大限発揮するための方策	(1)花きを収集し、栽培し及び展示する業務	①絶滅危惧種や希少植物の収集	H30~R2 (R1, R2 追加)	H30:絶滅危惧種・希少種の種苗交換を他の植物園と実施した。H30 環境省の「生物多様性保全推進支援事業」の認定を受け園内での展示エリア(ふるさと花園)を整備した。 R1:H30 同様に絶滅危惧種・希少種の種苗交換を他の植物園と実施した。H30 の認定事業(R2 最終年度)を継続し園内の希少種の保全に努めた。 R2:R1 同様に絶滅危惧種・希少種の種苗交換を他の植物園と実施した。H30 からの環境省認定事業の最終年として園内外の希少種の保全に努めた。	・新型コロナウイルスによる休園や外出自粛等の影響により、当初予定していたサインの設置や再整備、物見台の設置や新規園芸品種の導入等ができなかったのはやむを得ないと考える。 ・その中で、H30 から引き続き、絶滅危惧種・希少植物の収集・保全を行った点や、エントランス、装飾花壇、園路沿いの花壇の植栽方法を工夫した演出を行ったことは評価できる。 ・特に昨年度好評であったフラワードレスに、子ども用のものを新たに新設したり、廃棄予定のトップカーを活用するなど工夫を凝らして季節のイベントに応じた装飾を行った点については評価できる。 ・3年目となるユリの展示については、昨年以上の規模で実施され、来園者を魅了した。植物の管理や季節ごとのイベントにあわせた花の装飾の演出など工夫を凝らして実施してきたことを高く評価する。今年度実施できなかったクレマチス園の改修を含め次期指定期間の取組に期待したい。	・施設所管課の評価のとおり、フォトスポットとなるような工夫を凝らした花の植栽展示を行い、集客に取り組む等、提案された項目については、提案に沿って実施されたと評価できる。	
		②ゾーニングの変更					
		〈エントランスゾーン〉 ・プランターによる演出(季節毎に植替)	H28~R2 (R1, R2 追加)	H28:老朽化の激しいテラコッタドール及びクジラのオブジェを撤去し、花の少ない夏期の魅力向上のためシロバナサルズベリ、ベニバナスモモ(2本)を植栽した。エントランスゲート外の花壇の芝生を常緑化し、季節ごとに花を植え替えることで、おもてなしの空間演出を行った。エントランスゲートを入った広場にテラコッタ鉢を設置、花による季節ごとの演出を行った。 H29:エントランスゲート花壇の芝生を部分的に切り取り、花苗を植栽し華やかにした。エントランスゲート前とゲートに、特大テラコッタを置き、季節の花を中心にした寄せ植えをして、お客様をお迎えした。 H30:H29 に設置した特大テラコッタを装飾花壇と連動して季節の花を中心にした寄せ植えをして、エントランス中心には特大のオリーブの鉢植えを置き、お客様をお迎えした。 R1:エントランス全体に中小テラコッタ鉢を増やし季節の花を寄せ植えすることで艶やかなエントランスを演出した。 R2:エントランス前に廃棄用のトップカーを再利用して季節の花を中心に四季を感じる寄せ植えを行い新たなフォトスポットを創出した。			
		・花壇の整備	H29~R2 (R1, R2 追加)	(適宜、老朽化した箇所等を継続して整備予定) H29:装飾花壇内に敷いた白玉砂利を撤去し植栽部分を増やした。花の湧きたつようなボリュームを見せたい為、細かく区切られていた植栽柵を大きなサイズに変更した。 H30:大きくした植栽柵に高さが異なる花を植えることで立体的な3次元の植栽を実施した。(適宜、老朽化した箇所等を継続して整備予定) R1:装飾花壇最上段に季節の花を装飾する大小2基のフラワードレスを新設し、植栽デザインをドレスに合わせた構図に変更すると共に、植替えの回数を3回/年から4回/年に増やすことでより季節感のある花き展示とした。大温室前のブルーガーデンを延長してより多くの花きを展示した。 R2:ショップ前の装飾花壇の一部を、イングリッシュガーデン調に改修、一部販売商品の見本展示エリアとしても活用することでショップ売上に貢献した。			
〈ガーデンゾーン(メイン園路沿い)〉 ・現況撤去、ガーデン新設	毎年	H28:園路沿いに設置されていたプラスチックプランターを撤去、流れ末端に花壇を新設し、シェードガーデンから花壇をつなげることで、花の演出スペースを増やした。園路沿いに寄せ植えをしたテラコッタプランターやハンギングバスケットを設置し、季節ごとに花の植替えを行った。球根園横の園路沿い花壇の低木を撤去し、季節の花を見ていただけるような花壇を整備した。					

				<p>H29:園路沿いの花壇の砂利を撤去し、花の植栽面積を増やし季節の花いっぱいでお客様をお迎えした。</p> <p>H30:チューリップ、ユリのコンテナを用意し常設の展示エリア以外も季節毎に展示をすることで花いっぱいの園路でお客様をお迎えした。</p> <p>R1:H30 に続きユリのコンテナ、鉢植えを園内に数多く展示(10,000 球)した「はなぶんユリ祭り」を開催した。バラ園前のメイン園路沿いにハナミズキを品種改良した住友林業オリジナルの「ホワイトラブ」・「プリンセスラブ」を各 10 本植栽しハナミズキ並木を新設した。メイン園路に設置されているベンチ脇に新たにテラコッタ鉢を新設し季節の花で色鮮やかにメイン園路を演出した。</p> <p>R2:H30 から開催の「はなぶんユリ祭り」を引き続き開催しメイン園路沿いに数多くのユリの鉢植えを展示 (12,000 球) した。</p>			
		〈標本展示ゾーン〉 ・既存植物の同定	H28～H30 (H30 延長)	H30 に既存植物の同定作業終了。			
		・補充及び展示の整備	H28, H30～ R2 (R1, R2 追加)	<p>H28:ツバキ、ボタン、クリスマスローズを補充。</p> <p>H29:大温室にてサクラソウ展、マドンナリリー展、ギボウシ展、変化朝顔展、ネリネ展、クリスマス展、冬咲きチューリップ展を開催。樹木を撤去して展示スペースとして整備した。</p> <p>H30:大温室内科レクションガーデンを整備し、希少種を含むシャクナゲを補植 (原種 35 種、園芸種 14 種) し、H29 同様に各種の植物展を実施した。大温室には約 20 種程度の花きを補植。ボタン園奥の花壇を整備し、季節毎の展示としていたハスの常設展示エリアとした。日当たりの悪かったハーブ園をモミジ谷入口付近のメイン園路沿いの日当たりの良いエリアに移設し、移設後のハーブ園をペレニアルガーデンとして整備した。</p> <p>R1:ボタン園に新種を含む 50 株を補植した。涼が丘付近の老朽化したデッキスペースを全て撤去してアジサイ園の一部とし新たに 30 株を補植してアジサイ園を拡張した。バラ園内のバラを同一品種毎に植替えして花の色をそろえることで統一感のあるバラ園にリニューアルした。</p> <p>R2:H30 年の台風被害により倒木したセンペルセコイヤ及び病害虫が発生した樹木を撤去し園路沿いを中心に新たにミモザを 6 本補充した。</p>			
		・サインの設置	H29～R2 (H28 延期, R1, 2 追加)	<p>H29:劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。</p> <p>H30:H29 引き続きデザインを統一した植物サインを設置した。</p> <p>R1:大温室の入口にある温室案内板を新規で作成し設置した。各展示エリアに開花時期や展示植物の案内を掲示した案内板を設置して、見頃の時期以外でも訪れた入園者に積極的に情報を提供するようにし開花時期での再来園を促した。</p> <p>R2:コロナ禍による大幅な減収により新規設置等は無し。</p>			
		③わかりやすい展示					
		〈園内サインの統一デザイン化〉 ・ガーデンゾーンの植物サインの新設 (検索閲覧用パソコン整備)	H28～R2 (H30～R2 延長)	<p>H30 : 3 月にパソコンを設置済み。</p> <p>R2:閲覧内容の充実を図るためのシステムの改良を計画したがコロナ禍による大幅な減収の為改修を見送った。</p>			
		・園の案内サインの再整備	H29～R2 (H30～R2)	H29:園内外に「のぼり」を設置、奥河内くろまるの郷の駐車場に「花の文化園駐車場の看板」を設置し、誘導を図った。			

				追加)	<p>エントランス上部に遠くからでも視認できる「はなぶん」看板を設置した。園内マップ案内看板を、より細部までわかるようにデザインを刷新した。ゾーンに属する主要な植物の文化や歴史を掲載した案内サインを設置した。</p> <p>H30:大温室カフェへの利用促進のため温室テラス手すりに看板を設置した。利用者に分かりやすくするため「ゆずりあい駐車場」の案内板を設置した。</p> <p>R1:ゆずりあい駐車場に道の駅に向けての横断幕を設置する掲示設備を新設し、各イベントの案内や文化園看板を掲示して道の駅からの入園を促した。</p> <p>R2:コロナ禍による大幅な減収のため、既存改修、新規設置を見送った。</p>				
			・ 標本展示ゾーンの植物サインの再整備 (検索閲覧用のパソコン整備)	H28, R1 (H30 延期)	<p>(再掲) H30 : 3月にパソコンを設置済み。</p> <p>※H30 モニタリング対応方針 : Web 花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る。</p>				
④園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施									
			園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施	H29, R1, R2 (R2 追加)	<p>H28:樹木医による園内樹木の調査を実施。樹木の状況の把握と園に適応した管理のアドバイスを受けた。モミジ谷の低木について過密気味との調査結果を受け、強剪定を実施した。</p> <p>H29:調査で危険と診断されたエドヒガンザクラ1本を伐採した。</p> <p>H30:樹木医による特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)の被害確認を実施した。</p> <p>R1:H30 に続き樹木医による特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)の被害確認を実施した。</p> <p>R2:H30、R1 に続き樹木医による特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)の被害状況の確認を実施した。</p>				
⑤個別植栽エリアの改修、拡張、充実									
			〈装飾花壇〉 ・ 花壇の勾配変更	H30, R1, R2 (H29 延期)	<p>H29:勾配変更の図面は作成済み。勾配変更工事時期がイルミネーション開催期間(12/15～3/4)と同時期になったため、工事はH30年度に延期。</p> <p>H30:秋の一斉植え替えに合わせて最上段の花壇に盛土を実施し、モニュメントの付近を頂点とする40cmのかさ上げを行い勾配を変更した。</p> <p>R1:盛り土をして勾配を変更し、緑視率を高めた装飾花壇最上段に季節の花を装飾する大小2基のフラワードレスを新設しフラワードレスに上って写真を撮る常設のフォトスポットとした。季節限定では大温室「フェアリーリング」、クリスマス展「フラワーリース」・「ポインセチアタワー」、ウインターチューリップ祭り「チューリップタワー」と多くの新規フォトスポットを創出した。また、「フラワードレス」と「フェアリーリング」を用いたインスタグラムフォトコンテストを開催し、文化園のホームページ、SNSへのアクセス数を伸ばすことを試みた。</p> <p>(フォトスポットの創出を行う)</p> <p>R2:花壇内のフラワードレスと対になる子供用ミニフラワードレスを新設、エントランス前には廃棄用のトップカーを再利用して季節の花を中心に四季を感じる寄せ植えを行い新たなフォトスポットを創出した。</p>				
			・ 背景樹木の植栽	H29 (H28 延期)	H29 に桜を植栽済み。				
			〈花時計〉 ・ 物見台の設置	R2 (H29, H30, R1 延期)	<p>(時計機器の配線移動が困難なため、勾配変更から物見台設置へ見直し。台風により R1 へ再延期したが、装飾花壇の魅力づくりを優先し R2 へ再々延期)</p> <p>R2:コロナ禍による大幅な減収のため改修を見送った。</p>				
			〈バラ園〉	H30～R2	H30:台風 21 号の被害により既存アーチ、トレリス等が全壊。新設も含めて全体計画を立て				

			・アーチ及びトレリスの新設	(R2 追加)	ての大規模回収が必要となり今年度は延期。 R1:バラ園への入口から隣接の木根館の境界にかけて新規で木製トレリスを設置した。 R2:メイン園路とバラ園の境界に木製トレリスを設置予定。(3月設置)			
			・株のボリュームを増加する管理の実施	随時	H30:品種数は保持し、株が混んでいるところは間引きをして風通しを良くし、栄養豊富な土作りをし、株が良好に育つ様な管理を実施。間引き株は鉢上げをし、花期には展示をする。 R1:バラの発育の促進も兼ねて同一品種毎にまとまるように植替えを実施した。 R2:R1に引き続き同品種毎にまとめた植替えを実施した。			
			〈梅園〉 ・間引き	H29~R2 (R1, R2 延長)	H29:間引きによる管理を変更し、高頻度剪定を行う事により生育環境の改善を図る。H29, H30年度とも花後に剪定予定。 H30:H29同様に4月の花後に実施。 R1:H30同様に4月の花後に定期で実施。 R2:前年同様に4月の花後に定期で実施予定。			
			・低樹高化のための切り戻し	H29~R2 (R1, R2 延長)	H28, H29:4月の花後に、切り戻しを実施した。 H30:H28, H29同様に4月の花後に実施。 R1:H30同様に4月の花後に実施。 R2:前年同様に4月の花後に定期で実施予定。			
			〈香りの丘〉 ・香りのある植物の補植	H30~R2	H30:台風21号の被害により既存樹木が倒木した為、新規樹木植栽計画と合わせて再計画が必要となり今年度の補植は延期。 R1:H30の台風により傾いた樹木等を撤去、3月度にコミュニティガーデンにあるカラタネオガタマを移植。 R2:コロナ禍による大幅な減収により実績無し。			
			〈大温室〉 ・温室植物の補植	H29~R2 (H30, R2 追加)	H30:植物の少ない部分や既存植物の一部を整理し新規植物を補植(約20種程度補植)することで大温室をリニューアルした。エントランスと一部エリアをランの常設展示エリアとし大温室への入館者を楽しませるようにした。 R1:H30に続き植物の少ない既存植物部分に補植を実施した。滝下の通路部分を利用してテラリウム展示スペースを新設した。 R2:H30に整備したランの常設展示用にラン愛好家から多くの株を寄贈してもらい管理株数を増やしより艶やかな展示エリアとした。			
			・ベンチの設置	R1, R2 (R2 追加)	H30:イベント広場、入口売店前を整理しパラソル付ベンチを新規に設置した。 R1:園路中にベンチを設置すると共に、滝上の踊り場を整理して休憩スペースとした。 R2:園路中、滝下の通路へのベンチ増設予定。(3月設置)			
			・文化を紹介するサインの設置	H29~R2 (H30~R2 追加)	(文化園を積極的に入園者へアピールすることで集客につなげるため継続実施) H29:大温室にコレクションガーデンを整備し、企画展(植博:しょくはく)を実施。植物文化に関する情報を展示紹介した。 H30:H29同様にコレクションガーデンにて企画展を実施。6月度には「舞洲ゆり園」との連携企画として「マドンナリリー展」を開催しユリに関する多くの情報を展示紹介した。 (文化園を積極的に入園者へアピールすることで集客につなげるため継続実施) R1:H30同様にコレクションガーデンにて季節毎の花き企画展を実施。企画展中でのサインボード等の掲示を増やし多くの情報を発信した。 R2:R1同様にコレクションガーデンを利用して多くの植物・花き展示企画展を実施した。			
			〈もみじ谷〉 ・園芸品種の導入	H30 (R2 延期)	H30の台風21号により、R2へ延期 R2:コロナ禍による大幅な減収により新規園芸品種の導入は見送った。			

			・樹名札の設置	R1	H30 に設置完了。				
			〈クレマチスガーデン〉 ・改修	H29～R2 (R1, R2 追加)	H29:実績なし H30:改修計画を立案するも6月度の大阪北部地震の影響でクレマチスガーデン内のレンガ壁の解体が発生し再計画が必要となり延期 <u>※H30 モニタリング対応方針:メインコンテンツとすべく改修。</u> (H30 は台風の影響により未実施) R1:改修に向けた準備として既存のクレマチス株を鉢に移植した。 R2:コロナ禍にて大幅な改修は見送ったが、R1 にて鉢植えにした株を鉢のまま展示し、鉢の周りを季節の花きで飾り付けることで簡易的な改修を行った。				
			〈コミュニティガーデン〉 ・ガーデンを整備し、カフェの設置	H30～R2 (R1, R2 追加)	(大温室との兼ね合いにより、カフェの設置から休憩スペースの改修に変更) H30:ガーデン内のモニュメント、一部構造物を撤去し季節毎の花を新規に植栽し、テーブルセットを設置して休憩場所として開放した。カフェの設置については大温室カフェとの競合も考慮する必要を考え次年度へ延期。 (大温室との兼ね合いにより、カフェの設置から休憩スペースの改修に変更) R1:ガーデン内の樹木を整理し、大花壇と連動した花き展示エリアとして季節毎の花で演出し、テーブルセットを設置して休憩スペースとして入園者に開放した。 R2:R1 同様に休憩スペースとして開放し、ショップ販売苗を展示することでショップと一体化して利用することで賑わいを創設した。				
			〈球根園〉 ・3種の球根ガーデンの補植	H29～R2 (H30, R1, R2 追加)	H29 に3種の球根ガーデンに改修済み。H30 にダリアを植栽。 (今後の文化園のサブコンテンツとするガーデンに改修予定) H29 に3種の球根ガーデンに改修済み。 H30:一部をダリアの展示エリアとして球根を植栽した。合わせてダリアの開花時期に合わせて鉢植えのダリアを球根ガーデン内、園内各通路に展示することで文化園全体としてのダリアのイメージを入園者へアピールした。 (今後の文化園のサブコンテンツとするガーデンに改修予定) R1:H30 に続きダリアの補植を実施、さらに8月、11月にはコンテナ植えのダリアを多数展示した「ダリア祭り」を開催し、今後の文化園のサブコンテンツになるよう管理した。また、6月のユリ、4月のチューリップをあわせて植栽することでダリアの開花時期以外でも楽しめるガーデンとした。 R2:R1 に続き球根園をメインに「ダリア祭り」を開催、ダリア開花時期以外でもユリ、チューリップを植栽することで一年を通して花きの賑わいを創設した。				
			・植物を活用した講習会の実施	H30～R2	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務を参照。				
			〈ハーブ園〉 ・ハーブの補植	H30～R2 (R1, R2 追加)	H30:ハーブ園をモミジ谷入口付近のメイン園路沿いの日当たりの良いエリアに移設し、合わせて新規品種の補植を実施した。 R1:H30 にて移設後枯れてしまったハーブの補植を実施し展示内容の充実を図った。 R2:ハーブ園内にある大きくなりすぎた針葉樹の一部を伐採し日当たりを改善することで、新規でハーブの補植を行い、ハーブ園内に園路を整備してより近くでハーブを鑑賞できるように改修予定。(3月予定)				
			・講習会の実施	R31, R2	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務を参照。				
			〈芝生広場〉 ・桜の補植	H29, H30	H29 に補植完了。				

			<p>・芝生の整備、養生</p> <p>毎年</p> <p>H29:遊具撤去跡を整地し芝生の播種を行なった。芝生地に姫高麗芝を植栽。管理用の農機なども導入し、芝生の質を保っている。</p> <p>H30:9月に専門業者によるメンテナンスを実施。</p> <p>R1:H30同様に専門業者によるメンテナンスを6月に実施。H30の台風被害により倒木してできたスペースには新規で芝の植栽を実施し、芝生エリアを拡張して子供たちが安全に遊べるようにした。</p> <p>R2:前年同様に専門業者によるメンテナンスを6月に実施。子供用遊具周りの傷んだ芝生の張替えを10月に実施した。</p>					
		<p>〈バックヤード〉</p> <p>・バックヤード見学会の実施</p> <p>H29~R2</p> <p>H29:企業見学会、団体見学会時に3回実施。3月の府政学習会にて実施予定。</p> <p>H30:H29同様に企業見学会時に2回実施。2月の府政学習会にて実施予定。</p> <p>R1:H30同様に企業向けに見学会を1回実施。12月の府政学習会でガイドツアーを実施した。</p> <p>R2:コロナ禍にて実績無し。</p>						
		⑥高木密度の適正化						
		<p>・景観改善のための伐採・剪定</p> <p>毎年</p> <p>H29:レストラン、芝生広場、モミジ谷周囲樹木の伐採、剪定を実施。</p> <p>H30:装飾花壇の後ろのマツ林の剪定を実施、林内部のツバキを伐採しエントランスからの景観を改善した。新規ハーブ園付近の高木を伐採し日当たりと景観の改善を実施した。</p> <p>R1:芝生広場に面するメイン園路脇の中高木の剪定を実施、芝生広場が見えるようにすることで明るい園路にした。</p> <p>R2:R1に続きメイン園路脇の中高木の剪定を実施、見通しの良い明るい園路を確保した。</p>						
		<p>・樹木の健全性維持のための伐採、剪定</p> <p>毎年</p> <p>H29 アジサイ園内の過密になり下に陰を落としていた杉の剪定を行い、杉本体とアジサイの状態の健全化を図った。</p> <p>H30:大温室内の高木の剪定を実施し、温室内の日照の改善と樹木の健全化を図った</p> <p>R1:モミジ谷内の雑木の剪定を実施しモミジの日照改善と健全化を図った。</p> <p>R2:ハーブ園内の大きくなりすぎた針葉樹数本を伐採しハーブ園内の日当たりを改善した。モミジ谷内のユーカリの大木を伐採し園内の日当たりを改善した。</p>						
(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務	<p>①これまでに引き続き開催する講習会等</p> <p>※R1 モニタリング評価対応方針：来園意欲につながるような企画（講習会やコンテスト等）や植栽について、指定管理者と検討していく。</p>	<p>・不思議植物展</p> <p>毎年</p> <p>食虫植物をはじめとする植物の不思議な生態をクイズ形式にすることで、来園者にわかりやすく、興味を持ってもらえるよう工夫して紹介した。</p> <p>8/4(火)～8/10(月祝)の期間中、食虫植物を使った子ども向けの植え方・育て方教室を開催。期間中入園者数は、1,466人。(R1:2,757人、H30:3,156人、H29:2,479人)</p>						
		<p>・夏休み子ども講座</p> <p>毎年</p> <p>「はなぶんサマースプラッシュ」の一環プログラムとして、「夏休みキッズワークショップ」を開催。7/23(木)～8/23(日)の期間中、週末の13日間実施した。小さなお子様から楽しめる体験教室に649人の参加があった。(R1:10日間2,368人、H30:9日間3,251人、H29:13日間1,329人)コロナ感染対策を徹底し、スプラッシュガーデンや冒険クイズラリーなどを同時開催することで集客アップを図った。</p>						
		<p>・花の文化園写真コンテスト作品展</p> <p>毎年</p> <p>花の文化園写真コンテスト作品展」を2部門制にして実施した。</p> <p>部門①「四季のはなぶん」は、園内で撮影された写真全般を対象とし、4月から9月に募集、12/5(土)～12/25(金)に展示を行った。応募点数は126点の内、68作品を展示。展示期間中の入園者数は2,219人。</p> <p>部門②「はなぶんの30年」は、園内で撮影された梅雨をテーマにした写真を対象とし、4月から7月に募集、9/15(火)～10/4(日)に展示を行った。応募作品の全57点を展示し、</p>						
					A	<p>・新型コロナウイルスによる休園や外出自粛等の影響により、開催できなかった講習会があったり、参加者数が減ったことについては、やむを得ないとする。</p> <p>・写真コンテストについては、昨年度に引き続き、2部門制にし、来園者の投票を導入するなど工夫がみられた。</p> <p>・毎年夏休みに実施しているキッズワークショップや11月のものづくりワークショップについては、今年度はコロナ禍で参加人数が少なかったが毎年多くの子どもが参加する恒例イベントとして定着しており、感染対策を行った上で実施されたことは評価できる。</p> <p>・引き続き、R元年度のモニタリン</p>	A	<p>・施設所管課の評価のとおり、コロナによる影響はあったが、可能な範囲でイベントを実施する等、提案された項目については、提案に沿って実施されたと評価できる。</p> <p>・2～3世代で来ていただけるような魅力ある園になるよう、多様</p>

				<p>展示期間中、来園者の投票により上位 3 作品を表彰した。(投票数 719 票) 展示期間中の入園者数は 6,214 人。 (展示期間中の入園者数 R1:2,066 人、H30:5,223 人、H29:2,893 人)</p>	<p>グ評価による改善のための対応方針に基づき、子どもをターゲットとした花育にもなるクイズラリーなどのイベントや、園芸愛好家を惹きつけるような新たなイベント・講習会の開催についても、コロナ禍での社会情勢を踏まえ、今後はオンライン等の手法も探りながら検討されたい。</p>	<p>な客層の確保に向け、魅力あるイベントの企画や、初めて来た人がリピートしたくなるような体験についても検討されたい。</p>
	・幼児、小中学生花の絵画展	毎年	<p>「幼児、小中学生花の絵画展」を 1/5 (火) ~2/7 (日) に開催。4 月より画用紙の無料配布、画板の貸し出しを行い、7 月には絵画の指導員を迎えて、写生大会を 2 回実施した。園内を写生した応募作品全 140 点を展示。また 1/5 (火) ~1/24 (日) の期間では、入園者の投票により上位 30 点 (投票総数 731 票) を花の文化園賞とした。展示期間中の入園者数は、4,366 人。 (R1:1,559 票、3,856 人 H30:1,295 票、4,210 人 H29:1,223 票、3,283 人)</p>			
	・春を告げる盆梅展	毎年	<p>「春を告げる盆梅展」は、2/4 (金) ~2/14 (日) に開催。園内で生育させた盆梅を万葉集や枕草子などの古典文学に見られる梅の和歌や文章と合わせて、20 鉢の展示を行う。</p>			
	・クリスマスローズと春の草花展	毎年	<p>「クリスマスローズと春の草花展」は 2/20 (土) ~2/28 (日) に開催予定。園でみられるクリスマスローズの一覧も合わせて展示することで、クリスマスローズ園の案内を行い、ガーデンショップでの販売も行う。</p>			
	・花の写真教室	毎年	<p>コロナ禍にて開催実績なし。</p>			
	・押し花ファイルづくり	毎年	<p>より魅力的な講習会にするために、押し花でなくドライフラワーを生産し、草花ハーブ倶楽部での活動や季節ごとのワークショップに活用した。 ・植物アレンジレッスン「クリスマススワッグ作り」(12/6)</p>			
	・花と趣味の切手展	毎年	<p>イベントホールで、花きに関する展示を行った。 ・「秋の洋ラン展」10/20~10/25 (主催:大阪愛蘭会) ・「春蘭展」3/21.22 (主催:河内長野愛蘭会)</p>			
	・春の押し花展	毎年	<p>コロナ禍にて開催実績なし。</p>			
②新たに開催する講習会等						
	・和菓子の手作り教室	毎年	<p>コロナ禍にて開催実績なし。</p>			
	・園の植物を活用した草木染講習会	毎年	<p>コロナ禍にて開催実績なし。</p>			
	・寄せ植え教室	毎年	<p>植物アレンジレッスンで「ミニバラの寄せ植え」を実施した。 (11/8 参加人数 19 人)</p>			
	・リース作り教室	毎年	<p>植物アレンジレッスンで「チランジアと多肉植物のリース」を実施した。 (9/13 参加人数 19 人)</p>			
	・園で見られる生きものの教室	毎年	<p>「はなぶんサマースプラッシュ」のプログラムのひとつとして、外部から講師を招いて「昆虫教室」、「昆虫標本づくり教室」、「植物園の生き物観察会」を開催した。 ・昆虫教室 (8/1 参加人数 26 人) ・昆虫標本づくり (8/16 参加人数 38 人) ・植物園の生き物観察会 (7/25 参加人数 28 人) (2 イベントの参加者数計 R1:106 人、H30:145 人、H29:80 人)</p>			
	・手作りアート教室	毎年	<p>季節ごとに子どもまたは親子を対象としたワークショップを開催した。 ・7、8 月「キッズワークショップ」(13 日間 参加人数 649 人) 夏休みの子供を対象とした体験講座を屋内外で開催。 (R1:10 日間 2,368 人、H30:9 日間 3,251 人、H29:13 日間 1,329 人) ・11 月「ものづくりワークショップ」(10 日間 参加人数 454 人)</p>			

				<p>芸術の秋にぴったりの親子で楽しめるものづくり体験を屋内外で開催。 (R1:9日間 905人、H30:11日間 908人、H29:11日間 746人)</p> <p>・ハーブガーデンのポプリづくり 毎年 園内のダリアをはじめとする花や葉を活用した「ダリアのフラワーアレンジづくり」を開催した。(10/11 参加人数 10人) (R1:11人 R1初開催)</p> <p>・フラワークラウン教室 毎年 R1:フォトスポットのフラワードレスに関連させて、4月に生花を使った教室を、5月はアーティシシャルフラワーを使った教室を開催した。 R2:コロナ禍にて開催実績なし。</p> <p>・はなぶんそば工房(そば打ち体験) 毎年 コロナ禍にて開催実績なし。</p> <p>・アロマテラピー講習会 毎年 コロナ禍にて開催実績なし。</p> <p>・山野草を使った寄せ植え体験 毎年 植物アレンジレッスンの中で、伝統園芸植物である「サクラソウの植え付け体験」を実施した。(1/24 参加人数 4人) (R1:5人)</p> <p>・鉄砲瓜の発砲体験 毎年 夏休みの自由研究向けに「鉄砲瓜の発砲体験」を開催した。鉄砲瓜は園内で育てたものを使用し、生態の解説だけでなく、参加者全員が触ったりできるように内容を工夫した。 (8/16 参加人数 18人) (R1:20人)</p>			
(3)花きに関する講習会、展示会及び品評会等のため、花の文化園の施設を府民の利用に供する業務	①申し込み方法の簡略化				A	<p>・ホームページ(特にトップページ)において、施設の貸出し状況をよりわかりやすく表示するなど、より効果的な利用促進を図りたい。</p> <p>・芝生広場では毎年恒例の夏休みの子ども向けイベントのほかに、秋にもファミリー向けのワークショップの開催、シニア層向けに花や紅葉の広報を行うなど、ターゲット層に合った集客に取り組んでいること、継続して外部団体のイベントを誘致していることについては評価できる。</p>	A
	・申し込みフォーム及び空室情報を掲載したホームページの開設	H28	ホームページ開設済み。				
	・登録制度の新設(窓口及びFAXでも引き続き受付)	H28	登録制度を構築済み。				
	②対象施設のPR						
	・施設の写真を掲載したホームページの開設(施設利用の提案及び展示アドバイスは随時)	H28	ホームページ開設済み。				
	③屋外スペースの積極的な活用						
	・芝生広場及びイベント広場の利用誘致(広報誌に掲載等)	毎年	<p>芝生広場をメインとしたイベントとして、「はなぶんサマースプラッシュ」(7/23-8/23)と「はなぶん奥河内秋の文化祭」(10/31-11/23)を開催した。</p> <p>「はなぶんサマースプラッシュ」では、期間中毎日スプリンクラーを設置し、夏休み中の子どもたちの遊び場として、賑わいを創出できた。子ども向け講習として、キッズワークショップを26種類以上、その他の体験や講習を15種類以上、実施した。</p> <p>「はなぶん奥河内秋の文化祭」では、ファミリー層向けのものづくりワークショップを10種類以上イベント広場、芝生広場で行った。また同期間中に、シニア層向けに花(ダリア、マ</p>				

				<p>ドンナリリー) をメインとした広報をすることで、それぞれのターゲット層にあったコンテンツを展開し、より一層の集客を狙った。</p> <p>他にも、外部団体による雑貨マルシェ、自転車イベント、講習会、幼稚園の運動会の実施などを誘致することができた。イベント広場では、春秋のフラワーコンサートの利用を継続的に実施した。</p>			
(4)花きに関する相談及び指導を行う業務	①相談所の設置				B	B	<ul style="list-style-type: none"> 指定期間の中で web 花図鑑の内容充実を図ってきたことは評価できる。今年度見送った改修については、次期指定期間内の改修に期待したい。
	・図書館の再整備(センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐)	H29～R1 (H28 延期, H30～R2 延長)	H30 : 3月にパソコンを設置済み。(Web 花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る) R2: 閲覧内容の充実を図るためのシステムの改良を計画したがコロナ禍による大幅な減収の為改修を見送った				
	・書籍紹介、コピーサービス等サービスの充実	H29 以降 (H28 延期)	図書紹介、コピーサービスを実施中。				
	②来園者以外からの相談受付						
	・ホームページに問い合わせフォームを設置	H28, H30, R2	H28 設置済み				
	・よくある問い合わせをホームページに掲載	H28	掲載後、適宜更新中。				
	③出張花の文化園						
	・車両の整備	H30					
	・園外活動の実施	H30～R2	<p>H28: 学校ガーデニングの継続(小中学校 18 校 21 回訪問)、園外イベントへのブース出展継続。(中之島公園)</p> <p>H29: 学校ガーデニングの継続し、花育を実施(小中学校 19 校 24 回訪問)、園外イベントへのブース出展継続。(舞洲ユリ園、南海難波駅)</p> <p>H30: 学校ガーデニング継続実施。(幼稚園 1 園 小中学校 15 校 20 回訪問)</p> <p>出張花の文化園 6 回実施。(大阪舞洲ゆり園、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、大阪中ノ島公園、さかい利晶の杜、大阪府立大型児童館ビックバン、堺緑のミュージアムハーベストの丘)</p> <p>R1: 学校ガーデニング継続実施。(幼稚園 1 園 小中学校 17 校 22 回訪問)</p> <p>出張花の文化園 4 施設 5 回実施。(大阪舞洲ネモフィラ祭り、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、さかい利晶の杜、万博記念公園-おおさか都市緑化フェア 2019 in 万博)</p> <p>R2: コロナ禍にて園外活動実績なし。</p>				
	④ボランティアに対する教育						
・ボランティア養成講座の実施	毎年	(7)花きに関するボランティアの育成に関する業務を参照					
・日々の管理の中での専門的な指導	随時	同上					

	(5)花きに関する情報の収集及び提供を行う業務	①誰もが利用しやすい図書館づくり			A	・今年度見送った改修については、次期指定期間中の改修に期待したい。	B	・施設所管課の評価のとおり、これまでの指定管理期間において取り組んでいただいた内容については、提案に沿って実施されたと評価できる。改修については、次期に期待したい。
		・図書館の再整備（センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐）	H29～R2 (H28 延期)	(再掲) H30 : 3月にパソコンを設置済み。(期間を限定してお花の相談窓口を設置、Web 花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る期間限定でお花の相談窓口を開設) R1: 「花の散歩道」閲覧用のパソコンから検索できる花きの登録品種を増やした。 R2: 閲覧内容の充実を図るためのシステムの改良を計画したがコロナ禍による大幅な減収の為改修を見送った。				
		・雑誌や書籍の充実	随時	購読者の多い園芸雑誌の継続提供。				
		②インターネット上での情報公開						
		・Web 花図鑑「花の散歩道」の充実	H29, R1, R2 (R1 追加)	H30 : 3月にパソコンを設置済み。Web 花図鑑「花の散歩道」の内容充実を図る。 R1: 「花の散歩道」閲覧用のパソコンから検索できる花きの登録品種を増やした R2: 閲覧内容の充実を図るためのシステムの改良を計画したがコロナ禍による大幅な減収の為改修を見送った。				
		③広報誌の刷新						
		・新広報誌の作成 (Letter from flowers)	H28	広報誌を作成し、広報活動を継続実施中。				
		④情報収集のためのネットワーク形成						
		・公益財団法人日本植物園協会への継続加入	毎年	継続加入中。				
		・海外花き関係団体への加入	H29～R2	園にとっての意義が少ないと判断し、国内の協会での活動、交流を充実させる。				
(6)花の文化園の維持及び補修に関する業務	①清掃及び施設点検の徹底			A	・老朽化した木柵の新規交換や折れ枝の危険性を考慮した伐採を行うなど危険個所の点検とその改善に取り組んでいる点について評価できる。 ・今年度は緊急事態宣言下で中止となったが、大阪府・花の文化園での危機管理マニュアルに基づく、災害を想定した伝達訓練については、次期も継続実施し、災害に備えた対応方法を日頃から共有していきたい。	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、提案に沿って実施されたと評価できる。 ・災害訓練の実施等、引き続き所管課と連携して危機管理体制の強化に努められたい。	
	・清掃チェックリストの作成	H28	作成済み。					
	・安全基準の作成及び点検実施(点検は随時)	毎年	園全体の危険個所について、舗装・安全柵、危険樹木、転倒危険性、その他に分類してリストアップを行い、随時回収及び清掃を実施した。継続実施中。 <遊歩道> H28: 遊歩道の転落の危険性が高く、300mにわたり、木製の安全柵を新設した。 H29: 梅園、木製階段及び手すりの安全改修。 R1: 梅園内園路を砂利敷きにて不陸調整を実施した。 R2: 破損した遊歩道の木柵を新規交換した。 <モミジ谷> H28: 舗装の不陸及び階段部を改修した。 H29: 落枝樹木の剪定、伐採。 H30: アスファルト・コンクリート舗装を全面改修した。 R2: 成長しすぎたユーカリを伐採し、日当たりの改善と折れ枝の危険性を排除した。 <階段> H28、29: 階段不陸補修。 R1: センター棟屋外階段、バラ園階段を高圧洗浄による清掃を実施した。					

				<p>R2: エントランス外階段を高圧洗浄による清掃を実施した。 <シェードガーデン園路> H30: 木の根の影響で凹凸状態の石畳の不陸補修。 <イベント広場> H30: 高圧洗浄により全面清掃を実施した。 R1: H30 に続きイベント広場全面を高圧洗浄による清掃を実施した R2: 前年に引き続きイベント広場全面を高圧洗浄による清掃を実施、エントランス全面も高圧洗浄による清掃を定期的実施した。 <ひょうたん池> R1: 池周りの園路の一部をコンクリートにて補修し不陸を調整した。 <全体> H28, H29, H30, R1: 落枝、倒木の危険が高い樹木の剪定及び伐採を実施。今後も継続 H28, H29, H30, R1: 苔等により滑りやすく、危険性のある床面を清掃除去実施。今後も継続 H28: エントランスのテラコッタドール及びクジラのオブジェは老朽化のため撤去。 H28, H29, H30, R1: 消防計画書作成の上、消防訓練実施 (3月実施予定)。 H28, H29, H30, R1: 大阪府の建築物点検マニュアルを基に、ISO14000 に展開し、年4回遵守状況を確認している。 H28: 植栽エリアの点検箇所については、樹木医による診断により樹木健康度の確認を実施した。現在、管理時に日常点検中 ※H30 モニタリング対応方針: 担当部局と危機管理マニュアルを共有し、防災訓練などを通じ、その内容について随時精査する。 R1: 大阪府・文化園共有の危機管理マニュアルを作成、運用開始。 1月に南海トラフ地震を想定して大阪府と災害訓練(伝達訓練)を実施した R2: R1 同様に災害訓練を計画したがコロナ禍にて中止した。</p>				
		②各種施設の内装補修						
		・壁紙の張り替え等 軽微な補修	毎年	<p>H28, H29: レストランに本棚、つい立を設置し老朽化した壁面を保護。 H28, H29: ガーデンショップの内装を塗り直し。 H30: イベント広場の休憩所を売店に改装し、室内壁の汚い部分にロールスクリーンを設置し明るい店内とした。 R1: 花の工房の休憩室の壁面に園内ボランティア活動内容等の資料を掲示することで汚れた壁面を隠すと共に園内ボランティア活動を紹介する場とした。 R2: センター棟ロビーの壁面に植物保全活動、園内情報用の木製掲示板を設置し汚れた壁面を隠すと共に保全活動報告の場とした。</p>				
		③老朽化を目立たなくする演出						
		・エスパリエ等の設置	H29, R1	H30 にフルデッキへ壁面緑化を設置済み				
(7)花きに関するボランティアの育成に関する業務	①花きの専門知識の継続的教育	・ボランティア活動の場の提供及び教育	毎年	<p>ボランティア活動は毎週火・木・土に実施。園の職員が作業指示及び随時植物管理の教育を行っている。「NPO法人フル花と福祉の地域応援ネット」(以下フル)の理事会と月に1度合同で会議を行い、ボランティア会員の要望を組み込んだ連携体制及び日々の活動を実施している。園主催のイベントである「はなぶんサマースプラッシュ」のキッズワークショップにおいて、ボランティア会員によるクラフトづくりのブースを実施してもらうなど、協力</p>	A	<p>・提案に基づき、今後も植栽展示・イベント・運営全般についてボランティアとの意思疎通を密にし、連携体制を強化されたい。 ・コロナ禍においても対策を実施した上で可能な範囲でボランティアを</p>	A	<p>・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、提案に沿って実施さ</p>

				R2:「はなぶんサマースプラッシュ」では4台、「奥河内秋の文化祭」では5台、外部団体主催のマルシェでは、9台を誘致。また、随時出展依頼のあったものは受け入れ、園の賑わいを創出した。				
		・休憩所(ベンチ)の整備	H28, H29	整備済み。				
		③その他施設						
		・イベントホールとイベント広場が連動したイベント実施	H29～R2	H28:夏休み子ども祭りの際、イベントホールで各種ワークショップやクラフトづくり体験を行い、イベント広場ではケータリングカーによるにぎわい演出を行った。 H29:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」と共催のフルル展を開催(10/24-29)し、イベントホールで各種ワークショップを行い、イベント広場では園内栽培の花き類の即売会を行った。 H30:クリスマス展(12/4-12/24)では、イベントホールでクリスマス関連の展示を行い、イベント広場では、ワークショップを開催した。「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」のフルル展はH29年度同様に開催。また、イベントホールにて飲食ブース、イベント広場で物販ブースという外部団体主催のマルシェを誘致し賑わいを創出した。 <u>※H30 モニタリング評価対応方針:入園者数増を目指した目玉となるような企画や植栽を検討</u> R1:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」のフルル展、外部団体主催のマルシェはH30年度同様に継続的に開催した。 R2:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」のフルル展はコロナ禍にて中止、外部団体主催のマルシェはR1年度同様に継続的に開催した。				
		・花の工房事務室に授乳室を設置	H29以降 (H28延期)	キッズルームをセンター棟に新設したため、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。				
		・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	センター棟ロビーへ計画変更し、設置済み				
(9)周辺施設と連携したイベント開催等による地域活性化に係る業務	①木根館との連携	・削りくず等のコンポスト化	H29以降 (H28延期)	自然発火等のリスクがあるため、連携施設と協議の上で中止。				
		・園内ベンチ等の製作及びイベント化	毎年	連携せず、内部職員にて実施。				
	②くろまろの郷、ふるさと歴史資料館との連携	・マルシェや加工品による料理教室の実施	H29～R2	H28, 29, 30, R1:くろまろの郷施設連携会議へ隔月で参加。(H28, H29は毎月) H29:奥河内秋の文化祭イベントでは、周辺施設(くろまろの郷ビジターセンター、JAあすかてくるで河内長野店、木根館、ふるさと歴史学習館)との連携強化を図るため、スタンプラリーポイントの設置、フライヤーへの情報掲載を行った。また、ワークショップへの出展協力もいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。 H30:はなぶんサマースプラッシュ、奥河内秋の文化祭では、フライヤーへの情報掲載を行った。キッズワークショップへの出展協力をいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。 R1:昨年度に引き続き、はなぶんサマースプラッシュのキッズワークショップへの出展協力	B	・コロナ禍において連携イベントが実施できなかったことはやむを得ないと考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">これまでの年度の実績も加味して評価する。</div> ・くろまろの郷との共通チケットについては、くろまろの郷の利用者を花文へ誘致する取組であり、今後も相互優待の周年化など、取組を発展させられたい。	B	・これまでの指定期間で実施いただいた内容については評価できる。 ・今後も直売所やくろまろの郷等の周辺施設と連携し、施設間での来客の流動化を促す集客方法について検討されたい。

				をいただいている。11月の特別フライヤーに、イベントや優待券の情報掲載を行った。また、各施設の紹介看板を相互に設置している。 R2: コロナ禍にて実績なし。				
		・くろまろの郷との連携チケットの販売	R1, R2 (R2 追加)	※R1 モニタリング評価対応方針: 連携チケットの発行など、周辺施設と連携した集客増について検討する。 H30: くろまろの郷レストラン及びビジターセンターが混雑して待ち時間が掛かる場合はレストランの予約をして文化園を先に見てからのレストラン利用を図る共通コラボチケットの試験運用を実施した。(5~7月の運用で430人の利用) R1: くろまろの郷(JAあすかてくるで、むささびパン工房)の優待券とイベント情報を11月特別フライヤーに掲載し、くろまろの郷エリア全体でPRを行った。イベント情報と合わせて掲載することで、くろまろの郷エリアへの来訪動機を増やし、文化園への誘客を図った。(優待券利用数 534枚) R2: コロナ禍にて実績なし。				
		・くろまろの郷への花による装飾の提供	H29~R2	H30: くろまろの郷から文化園へ向かう宮山橋にプランターを設置し、季節ごとのお花で入園者を出迎えた。 R1: 定期的に園内展示後の抜取りした花苗、園内生産の余剰花苗を無償で提供した。 R2: コロナ禍にて実績なし。				
		・花見ツアーの開催(地元への開放)	R1~R2	(花見ツアーの開催から、地元住民への開放へ変更) H29: 近隣地元自治会を招待し、夜間ライトアップ花見を実施。 H30: 近隣地元自治会を招待し花見を実施。 R1: H30に引き続き地元自治会を招待しての花見を実施。 R2: コロナ禍にて実績なし。				
	(10) 高齢者、障がい者等への利用援助	① 高齢者、障がい者への利用援助						
		・貸出し用車椅子の設置	H28	設置済み。				
		・レイズドベッドの整備およびイベント実施	H30~R2	H29: レイズドベット整備済み。4月、10月に車椅子に座ったままレイズドベッドを利用した花の植え替えイベントを無料実施した。20組ほどの参加。 H30: H29同様に福祉花壇にて4月、10月にレイズドベットを利用した花の植え替えイベントを実施した。17組ほどの参加。 R1: H30同様に福祉花壇にて4月、11月にレイズドベットを利用した花の植え替えイベントを実施した。15組参加。 R2: コロナ禍にて実績なし。	A	・コロナ禍にイベントが実施できなかったことはやむを得ないと考えられる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">これまでの年度の実績も加味して評価する。</div> ・来園者の要望や意見、職員の気付きについて、職員間で十分に情報共有し、園の魅力を高め来園者の満足度を高めるために活かしていただきたい。	A	・施設所管課の評価のとおり、これまでの指定期間において取り組んでいただいた内容については、提案に沿って実施されたと評価できる。
		・貸出し用音声案内の設置	H29	設置済み。				
		・ヒヤリハット事例等の収集および改善	随時	お客様ヒアリングシート及び気づきシートを作成し、お客様からお聞きした要望やご意見をとりまとめ、随時改善に努めている。気づきシートは職員自身も利用し、お客様目線での思考、行動面での「気づき」を大切にするよう指導している。毎月の全体会議で事例を紹介し日々のサービス向上に努めている。				
	(11) 府施策との整合等	① 府が主催、共催、後援する行事・イベントへの協力	毎年	府政学習会の開催場所及び、無料入園券、粗品の提供を行っている。府政だよりの読者プレゼントに無料入園券の提供を行っている。大阪府南河内府税事務所による「税を考える」特別イベントを開催。開催場所の提供、資材の貸出等のサポートを行った。 R2: コロナ禍にて実績なし。	A	・コロナ禍においても、一部を除き提案どおり府施策に協力いただけたことは評価できる。 ・府内花き生産振興については、こ	B	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目につい

		<p>②府内花き生産振興支援</p> <p>③教育、福祉への協力</p> <p>④就職困難者等の雇用</p> <p>⑤利用者満足度調査</p> <p>⑥利用者数</p>	<p>毎年</p> <p>大阪府花き連盟より装飾花壇及び各花壇で使用する花苗を購入。年1回花き連、生産者、園担当者での調整会議を実施して連携強化に努めている。 R2は3月開催予定の蚤の市「はなぶんマーケット」へ余剰苗等の販売スペースを提供。</p> <p>毎年</p> <p>学校ガーデニング事業では河内長野市内の小中学校へ花苗の提供と植付けの指導を実施。 (H28:全21校、H29:全21校、H30:全1園15校、R1:全1園17校) 小中学校の生徒による職場体験の受け入れを実施。(H28:9校30名、H29:7校19名、H30:6校18名、R1:5校16名) 職場体験では毎年新任の先生方の受け入れも実施。(H28:3校3名、H29:3校3名) こさえたんフェアを実施。(H28:春・秋、H29:秋、H30:秋、R1:春・秋) R2:こさえたんフェア1回(秋)のみ実施。それ以外はコロナ禍にて開催実績なし。</p> <p>毎年</p> <p>雇用済み。</p> <p>毎年</p> <p>※R1 モニタリング評価対応方針：来園意欲につながるような企画(講習会やコンテスト等)や植栽について、指定管理者と検討していく。 R1:春と秋にアンケートを実施。各回500名以上の方に協力をいただいた。 R2:R1同様に春と秋にアンケートを実施。春300名、秋500名の方に協力をいただいた。</p> <p>毎年</p> <p>H29:総入園者数は89,588人(1月末 昨年対比 122%)、有料入園者数は40,948人(1月末 昨年対比 110%)である。 H30:総入園者数は82,555人(1月末 昨年対比 92%)、有料入園者数は41,149人(1月末 昨年対比 101%)である。昨年まで開催のイルミネーション(17:00以降)の入園者を除くと昨対比は総入園者数では101%である。実質の総入園者数、有料入園者ともに、過去2年間の経験を活かした年間イベント計画、効果的なPRの実施により、9月度の行楽シーズンにおける台風21号の被害による休園(14日間)があったにもかかわらず昨年度同様の成果をあげた。また、外部入園者数として「大阪舞洲ユリ園」における文化園の紹介活動にてユリ園入園者約10万人に対し4.5万人へ案内することができた。 障がい者の入園者数については8,165人(12月末 昨年対比 94%)である。幼児、小中学生の入園者数については、13,475人(12月末 昨年対比 109%)である。増加要因としては「はなぶんサマースプラッシュ」等の夏休みイベントの定着、子供向けのワークショップを多数開催した結果と思われる。 R1:総入園者数は81,564人(1月末 昨年対比 98.8%)、有料入園者数は38,974人(1月末 昨年対比 94.7%)である。今期は4~6月での集客に力をいれ装飾花壇に新規フोटスポット「フラワードレス」を新設、花が一番きれいな季節である4月、5月において「フラワードレス」をテーマにしたインスタグラムフォトコンテストを開催、SNS等の活用による集客にも注力した。6月には「はなぶんユリ祭り」として1万球のユリを園内各所の展示すると共に、大温室においては期間限定で季節の花で利用した「フェアリーリング」と天使の貸衣装を設置しフोटスポットとして活用し4、5月に続きインスタグラムフォトコンテストを開催した。インスタグラムフォトコンテストを含めたSNSにおける積極的なPR活動により文化園へのフォロワー数も着実に伸びてきている。 (Facebook 3月末 2,160 → 1月末 2,404、Instagram 477 → 825、Twitter 306 → 463、おでかけ情報「いこーよ」1,500→1,937) 障がい者の入園者数については8,647人(1月末 昨年対比 102%)である。河内長野近隣の各種福祉施設への季刊誌配架の効果が結果としてあらわれてきている。 幼児、小中学生の入園者数については、12,505人(1月末 昨年対比 89%)である。</p>	<p>れまでの年1回の会議に加えて、今年度新たに3月に開催予定の蚤の市でも連携予定であり、連携強化に努めている点は高く評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職困難者等の雇用については、提案どおり実施しており評価できる。 ・入園者数については、1月末時点では総入園者数が昨年対比73.4%、有料入園者数が76.5%で推移しており、現時点では総入園者数が年間約72,000人(R1入園者数98,127人(ボランティア除く)×73.4%)、有料入園者数は約37,000人(R1有料入園者数47,750人×76.5%)と見込まれる。 ・コロナ禍においても、SNSによる積極的なPR活動を行ったことで各種SNSのフォロワー数も大きく伸びており、その影響もあつてか9月から12月においては昨年度よりも入園者数が増加傾向にあることについては、高く評価できる。 ・H30には台風、今年度はコロナにより大きな影響を受けたこともあるが、総入園者数・有料入園者数共に目標達成に至らなかったことについては、危機感を持って取り組んでいたが、引き続き次期についても、PR活動、多様なイベント開催、植栽展示及び植物に関する講習会等の充実に努め、来園者数の増加を図られたい。 <p>(参考：5カ年事業計画で掲げた令和2年度の総入園者数140,000人及び有料入園者数60,000人)</p>	<p>ては、提案に沿って実施されたと評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数については、目標に達しなかったが、コロナ禍において様々な取り組みを実施いただいたことを踏まえて、評価する。家族2~3世代で来て楽しめるような魅力ある園になるよう、イベントの企画や遊具・キッズスペースの整備などの他、初めて園に来た人がリピートして何度も来なくなるような、今後の新たな取り組みによる集客数の増加に期待したい。
--	--	--	---	--	--

				<p>パスポート入園者数は14,681人(1月末 昨年対比 106%)である。四季における園内花き展示内容の充実が年間を通してのリピート率が上がった結果である。</p> <p>また、H30同様に「出張花の文化園」に力を入れ、「大阪舞洲ネモフィラ祭り」をはじめ昨年同様の各施設での外部入園者として約5万人へ文化園のPRをすることができた。</p> <p>R2:総入園者数は59,877人(1月末 昨年対比 73.3%)、有料入園者数は29,799人(1月末 昨年対比 76.5%)である。今期は前期からのコロナ禍により4月は各施設の使用制限(貸室利用禁止、レストラン・売店の店舗内利用禁止)等と、緊急事態宣言の発出により4/15から5/15までの31日間(27営業日)の閉園措置により、文化園としては一番のハイシーズン特にGWの休業が大きく響き入園者数、有料入園者数ともに大幅に減少した。一方で、費用の掛かる紙媒体による広報活動をHP・SNSを中心とした広報に切り替えることで各年代層に広く文化園の情報を発信することに努めた。また、R1よりはじめたInstagramフォトコンテストを各季節の花き展示に合わせて開催することでSNSのフォロワー数を伸ばすことに注力した。(Facebook 3月末 2,427 → 1月末 2,526、Instagram 915 → 1,591、Twitter 545 → 796、おでかけ情報「いこーよ」2,067→2,462)</p> <p>障がい者の入園者数については6,921人(1月末 昨年対比 80%)、高齢者福祉施設等の入園者数については2,619(1月末 昨年対比 41%)である。コロナ禍により感染リスクが高い高齢者の利用が大幅に減少する結果となった。</p> <p>幼児、小中学生の入園者数については、7,366人(1月末 昨年対比 59%)である。コロナ禍、緊急事態宣言の発出により休校の影響で夏休みが短縮されたことが大きく影響した。</p> <p>パスポート入園者数は12,838人(1月末 昨年対比 87%)である。</p> <p>園外でのPR活動を積極的に行う「出張花の文化園」についてはコロナ禍にて「大阪舞洲ネモフィラ祭り」の中止等をはじめ感染拡大防止、予防対策により本年度は全て中止とした。</p>				
I 総評				A		A		

評価項目	評価基準（内容）	実施予定 年度	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言		
				S～C		S～C			
Ⅱさらなるサービスの向上に関する事項	(1) 施設・設備の改修	①平等利用を確保するための施設整備						A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、提案に沿って実施されたと評価できる。 ・車いす利用者が安全通行可能な園路への路面サイン設置については、次期以降、予算を確保して対応されたい
		・園全体の舗装再整備	H29～R2	H28, H29:モミジ谷、階段の整備実施。 H30:モミジ谷園路舗装全面改修、シェードガーデン内の石畳の不陸調整を実施。 R1:エントランスから装飾花壇へ上がる階段の劣化した舗装材を撤去し洗浄を実施。園外の劣化した歩道舗装の全面改修実施。 R2:ペレニアルガーデン周りの園路舗装全面改修予定。(3月予定)	A				
		・車椅子利用者が安全通行可能な園路に路面サインを設置	H30～R2	H30:実績なし。 R1:実績なし。 R2:コロナ禍にて大幅な減収のため実績なし。					
		・エントランスゲート近くに車寄せを新設	R1	R1:大阪府による今後の園全体の再整備、改修計画の内容に合わせて再度計画することとし延期。					
		・男女トイレに子供用いす及びおむつ替えスペースを設置	R1～R2	R1:3月度に設置予定。 R2:R1・2月からのコロナ禍にて大幅な減収が予想されことで設置計画延期、実績なし。					
		・花の工房事務室に授乳室を設置	H29 以降 (H28 延期)	(再掲)キッズルームをセンター棟に新設したため、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。					
		・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	(再掲)センター棟ロビーへ計画変更し、設置済み					
		・園内サイン、パンフレットの多言語化	H29, H30						
		・園内各所にベンチやパーゴラを設置	H29, R1 (H28 延期)	H30:イベント広場、売店前、コミュニティガーデンに休憩用のパラソル付きテーブルセットを設置。 R1:大温室にベンチを設置。 R2:メイン園、各ガーデンへ新規でベンチを設置予定。(3月予定)					
		・施設のバリアフリー化(階段のスロープ化、手すり設置)	H28, H29, R1	H28:遊歩道に手すりを新設。幅広い年代の方に対応。 H29:球根園を車椅子対応に整備済み。 R1:道の駅から園へ向かう道路にある歩道の舗装を全面改修し車いすでの利用を可能にした。 R2:コロナ禍にて大幅な減収のため実績なし。					
		・社会福祉施設の職員を定期的に招いて改善点の指摘を受け入れ、施設を再整備	H29～R2	H29:実績なし。障がい者ご来園時には聞き取りを行ない、休憩室(和室)の利用を頂く等改善中。 H30:レストランの一部エリアのテーブルの設置間隔を広くし、車いす等での利用をしやすくする改善をした。 R1:国立大阪南医療センターより副看護師長を招き園内施設へのアドバイスをもらい今後の改修計画の参考とした。 R2:コロナ禍にて実績なし。					
②エントランスゾーンの改修整備						A			
・外からも装飾花壇を臨むことができるように見通しを改善	H28	ゲート外から装飾花壇が見えるように改修。							

		<ul style="list-style-type: none"> ・園内エントランス広場の舗装改修 (※事業計画では記載がないが、シェードガーデン園路改修を予定) 	H30				
		<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルとなるようなサインを設置 	H29, H30 (H28 延期)				
		<ul style="list-style-type: none"> ・装飾花壇の勾配変更 	H30 (H29 延期)				
		<ul style="list-style-type: none"> ・売店にカフェを併設し、コミュニティガーデンに座席を設置 	H30, R1 (R1 追加)	(再掲) (大温室との兼ね合いにより、カフェの設置から休憩スペースの改修に変更)			
(2) その他 創意工夫	①提案に基づく業務内容以外の創意工夫・ 自主事業の取り組み	毎年	<p>H29: 自主事業として、「はなぶんファンタジーシネマ」として屋外映画鑑賞会を実施。</p> <p>H30: 各種イベント団体をプロモートすることで費用をかけない形での新規イベントを実施した。(河内長野雑貨村 春、夏、秋計3回)。ゼロエミへの取り組みを兼ねたイベントとして、装飾花壇の植替え時期に合わせて花壇の抜き取りイベントを実施し、多くの入園者にご参加頂くとともに、まだ使える花苗の再利用と植物残さとしてのゴミの排出抑制ができた。(6、9、11月実施 参加者700人) 夜の植物園ナイトツアーを開催し新たな植物園の魅力を発信した。(7月 参加者8日間21人)</p> <p>モミジ谷の園路改修にともない紅葉ライトアップとモミジの下での篠笛と電子ピアノの演奏会を実施した。(11月 参加者3日間788人)</p> <p>R1: H30 同様の各イベント、プログラムを継続実施。</p> <p>個人のSNSによる情報拡散による文化園の知名度アップを目的に新規フォトスポット(フラワードレス、フェアリーリング)を利用したInstagramフォトコンテストを開催し文化園ホームページへのフォロワー数を伸ばした。</p> <p>毎週火曜日をペット開放デーとして新規客層の取り込みを行った。</p> <p>R2: R1 同様の各イベント、プログラムの中からコロナ感染症予防対策の徹底ができるものについて継続実施。あわせて、HP、SNS等を積極的に利用した広報活動を展開した。また、LINE ビジネスを活用した「お友達」登録を実施することで運営側からタイムリーの園の各情報を配信することでの集客に努めた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 拡散による知名度アップ・集客増加に向けた取組みに加え、新たにLINE ビジネスを活用し、園の情報発信を積極的に行ったことは評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、提案に沿って実施されたと評価できる。 	
II 総評					A		A

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指定・提言
				S～C		S～C	
目 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①施設や植栽整備に利益の再投資を行い、「経営」視点の管理運営	毎年 ※R1 モニタリング評価対応方針：来園意欲につながるような企画（講習会やコンテスト等）や植栽について、指定管理者と検討していく。 H28, H29, H30:施設の安全を確保、施設コンセプトに見合う改修・サービスに優先的に投資。同時に、集客に向けた準備（コンテンツの充実、宣伝）を行い指定管理3年目からの経営回復をはかる。 植栽管理及び改修の高質化及び作業の安全性の向上を一番に考え、適正価格で住友林業グループの取引業者へ外部委託。 住友林業グループの一員としての総合力で、改修費用、生産原価を抑えることで経費の圧縮を実現。 専門家を招きバラ等の管理指導を受けると同時に、イベント化し来園者に向けての講習とすることで費用の削減と管理の高質化を実現。 業務分担の見直しを行い、チーム間、職員間の情報の共有化を徹底することで、作業の無駄を省き運営の効率化をはかる。 H30:パート職員の効率的なシフト管理を行うことで人件費を抑え、管理業務の一部を外部委託することで園内整備に注力した。 ※H30 モニタリング評価対応方針：目玉となるような植栽について、検討をはかる。 R1:装飾花壇にフラワードレスを新設して花苗を立体的に展示し、ドレスの上に立って写真を取れる構造として1年を通した新たなフォトスポットとし四季の花で装飾をした。6月は10,000球のユリ苗を園内各所に展示する「はなぶんユリ祭り」を開催した。11月は文化園オリジナル品種を含む10,000輪のダリアを展示し合わせてダリアの栽培講習会を開催した。 入園料収入 22,863千円（1月末 昨年対比 96%）、施設利用料収入 599千円（1月末 昨年対比 103%）となっている。 R2:年度初めよりコロナ禍にて園内施設の一部制限（各貸室の利用禁止、売店・レストランの店内利用禁止等）をした中での運営となり、4月にて政府による緊急事態宣言の発出により開園以来初めての長期閉園（4/15～5/15までの31日間、営業日数 27日間）となり、その後も感染状況が改善されない中での厳しい運営となった。 その中で、装飾花壇の「フラワードレス」と対になる「ミニフラワードレス」、エントランスゲート前にトップカーを再利用した「花ぐるま」の新規フォトスポットを整備するとともに、「はなぶんユリ祭り」「ダリア祭り」「ウメコタ」等のインスタグラムフォトコンテストを定期的で開催することでHP、SNSからの集客に努めた。また、次期指定管理にむけたHP改修、レストラン飲食スペースの拡大、キッズルームの新設等を計画中である。また、今後の新規ビジネスとして園内での養蜂による安全で安心な100%国産ハチミツの販売等の試験を開始した。 入園料収入 17,994千円（1月末 昨年対比 79%）、施設利用料収入 267千円（1月末 昨年対比 45%）となっている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において閉園や外出自粛要請の影響を受け、来園者数の減少により収入が減少したことについてはやむを得ないとする。 ・その中で、子ども用のフラワードレスの新設や、トップカーを活用した新たな展示の工夫に加え、コロナ対策を行った上で各種イベントを実施し、来園者満足度向上による集客（収入）増に取り組んでいるほか、収入減に伴い創意工夫をこらして支出も抑えていることは評価できる。 ・入園料及び施設使用料収入は昨年対比 79%で推移し、現時点では年間約 22,760千円（R元同収入 28,809千円×79%）の見込みとなっており、5カ年事業計画で掲げた令和2年度の入園料等の収入 39,000千円を下回っていることから、次期は利益の再投資に向け、収入の確保に努められたい。 ・共同企業体を構成する2法人の経営状況は安定しており、今後も安定的な指定管理業務の遂行が期待できる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおりコロナ禍での休園もあった中で、対策をした上で工夫イベントを実施されたことについては評価したい。 ・収入については、目標達成には至らなかったが、コロナ禍において様々な取り組みを実施いただいたことを踏まえて、評価する。 この項目については、集客数と密接にリンクするため、来年度の集客増にさらなる創意工夫を期待したい。

	②最新技術の活用や無駄を省いた効率的な管理運営による経費削減	毎年	H28、H29、H30：入園券の発券システムを新たに導入し、発券と同時に入園者の年齢や性別の分類集計を可能とした。今後は集計したデータを活用し、運営の改善を図る。園内生産の植物を売店で販売することにより、仕入経費の削減に努めている。 R1:売店・レストランにPOSレジシステムを導入し閉店後の作業の効率化を図ると共に、データを活用した売上げ・販売分析を行いより利用者のニーズにあった経営ができるようになった。 R2:R1 に売店・レストランに導入したPOSレジシステムを券売・カフェへ導入し、園内の全ての施設でPOSレジシステムへ移行。作業の効率化とPOSシステムからの各種データを分析し園の運営に活用することで利用者ニーズにあった経営を行っている。				
	③安定的な運営が可能となる財政的基盤(法人の経営状況)	毎年	共同企業体のいずれの法人においても安定した経営を継続している。				
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	毎年	現場管理職員1名(住友林業緑化社1名)、現場雇用嘱託職員10名(マメジメント2名、プランニング1名、ガーデン7名)の11名体制で現場を運営。パート職員についてはプランニング担当5名、植栽管理16名、レストラン7名、券売3名、売店7名、管理清掃4名、計42名体制で業務にあたっている。 経理業務管理については3名(内2名は現地雇用嘱託職員)にて、支出管理、勤怠管理を行っている。 植栽管理については6名の現場雇用嘱託職員にて担当植物分担を決めたうえで年間管理計画に基き植栽管理パート職員と共同して作業にあたることとしている。また、毎週1回のミーティングを実施し、情報共有を図っている。 企画担当は6名体制で、広報・イベント等企画を実施。毎週ごとにみどころガイドマップ等の広報媒体の作成、SNS・LINEの配信、ホームページ等の更新、イベントの企画・運営、イベントホール等の使用誘致及び調整を行っている。	A	・パート職員が増員され、また植栽管理、レストラン、売店を兼務するなど業務範囲が広がっていることから、来園者サービスの質を維持するため、職員研修を充実させるとともに、引き続き職員間及び指定管理者とボランティア間の意思疎通及び運営方針の共有に努められたい。	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、提案に沿って実施されたと評価できる。
	②職員の指導育成体制は十分か	毎年	住友林業緑化社実施の安全大会への出席、ISO研修等の住友林業グループの教育の場に嘱託職員も参加。 1回/週の朝礼において危険作業等の是正事項の指導を実施。 職員が常駐する各部屋に住友林業グループの環境方針を掲げ、定期的に確認を促している。 管理運営業務に必要な各種資格の取得を積極的にサポートしている。				
Ⅲ 総評				A		B	